

山梨県バス交通ネットワーク再生計画（H29.3）に基づく再編とバス路線の維持

計画に基づく再編の成果		 <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: -50px; top: 50%; transform: translateY(-50%);">バス交通ネットワークの維持</p>
広域的 路線	広域交通空白地域の解消	
	広域的路線の利便性向上	
地域内 路線	広域的バス路線・鉄道との接続強化	
	移動目的地との接続強化	

広域的路線・地域内路線の改善、バス相互・鉄道との効率的乗り継ぎによる**利便性の高い交通ネットワークの実現**

既存の広域的・幹線的 路線の運行等支援	バス運行対策(赤字バス路線対策)費補助金 【78,613千円】 ・既存の広域的・幹線的路線の運行や車両購入に対し支援 ・4事業者が運行する県内24路線
広域的・幹線的路線に 準じる路線の運行支援	生活バス路線維持費補助金 【1,533千円】 ・広域的・幹線的路線に準じる路線（1路線）の運行に対し支援
廃止路線代替バスの 運行等支援	市町村自主運営バス補助金 【40,447千円】 ・廃止代替バス路線（54路線）の運行や車両購入に対し支援
計画に基づき新設される 広域的路線の運行支援	バス交通ネットワーク再生事業費補助金 【2,966千円】 ・バス交通ネットワーク再生計画に基づき新設した路線（1路線）の運行に対し支援

対応すべき課題

リニア開業を見据えたバス交通

時代のニーズに対応した新たな交通サービス

1 先進バス交通技術導入促進事業費

当初予算 730千円

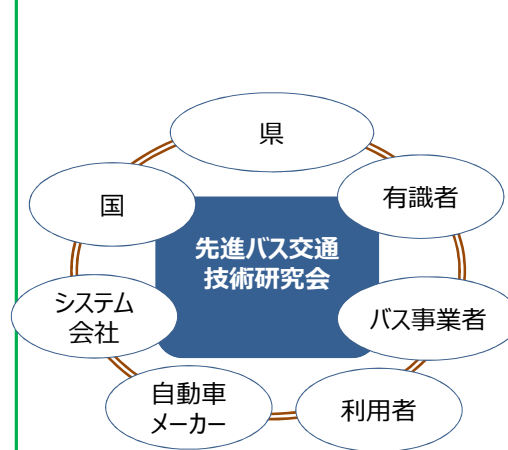
◆ リニア開業に向けて先進的なバス交通技術の導入を図るための取り組みを行う。

【平成30年度の取り組み】

- 「山梨県先進バス交通技術研究会」をH30.6に設置し、自動運転技術や燃料電池バスなど先進交通技術等の導入に向けた検討を行った。

【令和元年度の取り組み】

- 先進技術の導入に向けて、先進地の視察等により自動運転に関する情報収集を行うとともに、MaaS (Mobility as a Service) についての情報収集と導入に際しての課題等を関係者等と研究を行う。



自動運転技術等の先進交通情報の蓄積

実証実験等の誘致を通じたノウハウの蓄積

県全域での先進バス交通技術の導入



※先進バス交通導入のイメージ

リニア開業に向けて先進交通技術でのバス運行を目指す

2 交通弱者移動支援サービス導入事業費

6月補正予算 1,713千円

◆ 交通空白地における高齢者等の交通弱者の移動手段の確保のため新たなサービスの導入が必要。

【平成30年度の取り組み（多分野連携・次世代型交通サービス検討事業費）】

- 「多分野連携・次世代型交通サービス検討会議」を3回、分科会を2回開催し、県内の公共交通を活用する取り組みや公共交通を補完するための新たな交通サービスを検討した。

【令和元年度の取り組み】

- 新たな交通サービス導入に向け、セミナーを開催するとともに補助事業を実施
  - ・交通弱者移動支援サービス導入事業費補助金
  - <補助先> 市町村、NPO法人等
  - <補助対象> 備品購入費、運転者講習代等
  - <補助率> 1/2 (300千円上限)

公共交通を補完する交通サービスの実施イメージ

